ライブリバント+ラス・クルース・療法(体重80kg以上)【1コース目】(Day22)

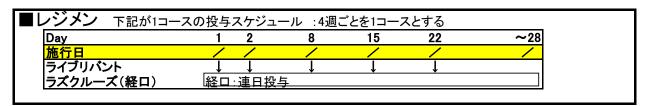
【呼吸器科】156-22【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m [*]	Cr:	mg/dL



■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり



■投与量	※投与量の参考
薬剤名	標準投与量
- /	《Day1》 350mg/bod

	\\Day\frac{1}{\pi} \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
ライブリバント	《Day2》	1050mg/body
	《Day8,15,22》	1400mg/body
ラズクルーズ	1回240mg	1日1回

薬剤師	看護師	看護師

■注意·確認事項

- ○点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- 〇ライブリバントは調製後10時間以内に投与終了すること。
- 〇静脈血栓塞栓症の発症を抑制するため、投与開始後4カ月間は、エリキュース錠2.5mgを1日2回経口投与すること。
- ○輸液ポンプを使用すること。
- 〇ライブリバントの投与速度

125mL/時

Oinfusion reactionが認められた場合は投与を中断し、症状が回復した場合、発現時の50%の投与速度で再開する。 再開後の30分間にinfusion reaction の症状が認められない場合、中断時の投与速度まで上げることができる。

その後の2時間にinfusion reactionの症状が認められない場合、同日に予定されていた最高速度まで上げることができる。 infusion reactionによる投与中断・再開時に症状が再発した場合、投与中止を検討する。